資料1

「新しい福島県総合計画 中間整理案」に関する主な意見とその対応（パブリックコメント等）

No.	章	頁	行	該当項目名	意見等の内容	対応案
1	2			第2章　ふくしまのめざす将来の姿	新しい県民運動「100年後も・・・いきいき　ふくしま、うつくしま。」のように、100年ごとは言わないまでも30年後の福島県は「こうありたい」というコンセプトが必要であり、県民の実生活に活かせるスローガンやキャッチコピーを示すべき。	○ご意見を踏まえ今後検討してまいります。 スローガンやキャッチコピーに相当するものとして、基本目標を今後設定することとしております。
2	3	51	5	第3章　ふくしまの基本方向	「将来予想される廃炉も視野に入れて」という記述があるが、東京電力は未だかつて廃炉計画について具体的な意思表示はしていないはずであり、30年後でも廃炉になっている保証はどこにもない。いたずらに「廃炉」という表現を使う理由が理解できない。ここで言う視野に入れる代表例がなぜ「廃炉」である根拠はないのではないか。 逆に、具体化はしていないものの、東京電力の福島第一原子力発電所では7・8号の増設計画があると聞いている。これは、当然税収の増加や交付金による経済的メリットや雇用の増大など地域振興につながるもので、今後30年を見据えた計画の中で無視することは出来ないものと考える。地域振興という意味では「増設」の方が大きい。県の立場で書きにくい部分は理解できるが、そうであれば、「廃炉」の記述も抹消すべきではないか。	○ご意見を踏まえて表現を修正します。 「電源立地地域においては、電力供給面で我が国の社会経済の発展に大きく貢献しているにも関わらず、時間の経過とともに関連する税収が減少するなど、地域経済への影響も生じています。<u>また、わが国でも経年劣化等により廃止措置の段階に入った原子炉の事例も生じてきている中、県内には、稼働から30年を経過する原子炉が存在しています。これらのことを踏まえ、地域の将来について幅広い視点から検討した上で、</u>特色ある地域づくりを促進し、地域の活力を高めていく必要があります。」
3	5	74	13	第5章　政策分野別の重点施策	ムラを維持するためには、まずそこに青年がいて、結婚し、子どもができることから始まる。周りでは40～60代での独身者も多く、青年に嫁を見つけてやることが大事である。	○ご意見を踏まえて表現を修正します。 第5章　礎1－(1)－①において、「ⅲ　思春期から親となることについて必要な心構えを持たせるとともに、<u>若者の交流を促進すること</u>などを通して、次代の親の育成を進めます。」と下線部を記載します。
4	5	75	25	第5章　政策分野別の重点施策	農業問題で減反もさることながら、耕作放棄地が非常に目立っている。高齢で耕作できなくなっているが、後継者がいないのが原因だと思う。小・中・高校生が頼りなので、体験学習等を通して興味を持たせていくべき。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 御指摘の趣旨は、第5章 礎-1-(1)-③に記載していますので、ご理解願います。 「地域や企業、商店、農林水産業者等との連携による職場体験活動やインターンシップの実施など、小中高を通したキャリア教育を推進することにより、働く意味や尊さを考えさせ、発達段階に応じた勤労観・職業観の醸成を図ります。」

No.	章	頁	行	該当項目名	意見等の内容	対応案
5	5	76	17	第5章　政策分野別の重点施策	男女共同参画が一時の盛り上がりを欠いている。市町村間のネットワーク構築や各市町村における推進に際する県の支援をお願いしたい。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 男女共同参画については、第5章の礎-1-(2)-②に男女共同参画社会の形成を掲げており、指標としても市町村の男女共同参画計画策定率の向上を目指すこととしておりますので、ご理解願います。
6	5	76	30	第5章　政策分野別の重点施策	(3)文化やスポーツなどによる自己実現の場づくり ①「文化・スポーツの振興による活躍できる場づくり」や②「生涯学習の環境づくりを通じた自己実現の支援」の中に、「子どもを担い手として、育成支援する」内容を盛り込むべき。	○ご意見を踏まえて修正します。 「(3)文化やスポーツなどによる自己実現の場づくり」の総論の部分の冒頭(p.76、31行目)を「子どもから大人、高齢者まであらゆる人が・・・」と修正します。
7	5	86	18	第5章　政策分野別の重点施策	二地域居住やIターンの人などの他地域の視点を持った人材の活用が重要。ふくしま型といえるふくしま独自の取組みを進めていくことが必要。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 二地域居住者等の他地域の視点をもった方々は地域の活性化の観点からも重要であることから、交流の促進などを進めていくこと(柱Ⅰ-2-(1))としています。
8	5	87	1	第5章　政策分野別の重点施策	ある調査結果で本県のブランド力が40位台であった。一つ「これだ！」というものを中心に発信し、観光振興を図るべき。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 観光素材の発掘や商品化の支援等により、ふくしまの新たな魅力づくりを進めていくこと(柱Ⅰ-2-(2))を記載しています。
9	5	90	7	第5章　政策分野別の重点施策	緊急車両の通行を考えても、交通の確保がなければ、医療の確保にはつながらない。建設業と医療は福祉の両輪とも言える。建設業の育成支援が重要。	○ご意見を踏まえて表現を修正します。 第5章　政策分野Ⅱ-(2)-①ｖにおいて、「道路整備等による救命救急センターへのアクセスの向上、」を追加記載します。 また、地域の主要産業である過疎・中山間地域の項目において、新分野進出の支援も記載しています。
10	5	95	33	第5章　政策分野別の重点施策	雇用が重要。まず地域で暮らすことができ、地域で仕事が出来ること。行政の雇用対策には本気さが感じられない。働く場がなければ、そもそもまちづくり人づくりにもならない。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 就職を理由とした他県への転出が大きな課題であることから、本計画においは柱Ⅰ-1地域に根ざした力強い産業の育成を通じて、雇用の場の確保を進めてまいります。
11	5	96	14	第5章　政策分野別の重点施策	町内でも単身高齢者が増えており、人と人とのふれあいや思いやりが大切であり、小さな町では特に重要だと感じる。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 人と人とのふれあいや思いやりは、重要な観点であることから、ふくしまを支える柱として「思いやり」を取り上げているほか、地域コミュニティの部分や孤立しがちな人々に対する支援ネットワークを第5章　Ⅲ-1-(2)に記載しています。

No.	章	頁	行	該当項目名	意見等の内容	対応案
12	6	110	17	第6章　地域別の重点施策(県中)	福島産の安全安心な商品なら、価格が高くても中国などに輸出できる。福島空港は県民ぐるみでどう活用するか考えていく必要がある。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 福島空港の利活用については、「『福島空港』と地域資源を活用した交流人口の拡大」の重点施策として、地域と一体となった利用促進や県民の空港として親しむことができるにぎわいづくりに努めることとしています。 また、政策分野別の重点施策においても、県民の空港として位置づけ、利活用を図ることとしています。
13	6	118	6	第6章　地域別の重点施策(会津)	自然や文化の資源や全国有数の農産物など、福島、会津にはいいものがたくさんあるが、売りこみ方が下手であると感じている。行政や民間が役割分担をし、磨き上げや販路の拡大を図る必要がある。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 新しい総合計画では、ふくしまの将来の姿を考え、その実現をめざしていく上で、重要である考え方を3つの基本姿勢として捉えて、その一つとして「ふくしまの魅力の再認識、磨き上げ、発信」を掲げるとともに、政策分野別の重点施策の柱Ⅰ-1-(2)-③において、農商工連携による販路拡大等について触れています。今後、こうした取組みを地域の方々や関係団体などの協力をいただきながら進めていきたい。
14	6	126	16	第6章　地域別の重点施策(相双)	雇用についても多様性が重要。一つの工場を持ってきてもそこが倒れればどうしようもない。また、コンピュータのプログラマーなどは、この地域では就職先がない。 産業の多様性ということをもっと力強く位置づけていくことが必要である。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 地域別の重点施策においては、輸送用機械、半導体関連産業や今後発展が見込まれる環境・エネルギー産業などについて集積を促進するとともに、農商工連携などによる地域産業の発展を図ることとしています。 また、政策分野別の重点施策においても、「地域に根ざした力強い産業の育成」に位置づけ、多彩な人々が活躍できるような環境づくりを進めることとしています。
15		7		指標候補一覧	「自殺者数」 具体的な数値目標を設定するには抵抗がある。現状より減らすという目標にしてはどうか。	○中間整理案のとおりとします。 掲げる目標値よりも最大限減らしていく性格の指標と捉えております。より実効性のある取り組みを推進するためにも、あえて目標とする抑制水準を示してまいりたい。

「新しい福島県総合計画 中間整理案」に関する市町村からの主な意見とその対応

No.	市町村名	章	頁	行	該当項目名	意見等の内容	対応案
1	本宮市	1	15	11	第1章　ふくしまの特性と時代潮流	【内容】人口流出に対する視点を見直す必要がある。 【理由】人口流出に歯止めをかけるためには、首都圏並みの多様な雇用の場を確保することが必要不可欠であるため。	○ご指摘の趣旨は中間整理案でも触れています。 　ご指摘の視点については、「豊かな自然環境、多様な産業構造や東北圏と首都圏の結節点といった強みを生かし、今後、子育て環境を含めた本県の総合的な魅力を高めていく」なかに含めておりますので、ご理解願います。
2	大熊町	3	51	5	第3章　ふくしまの基本方向	「将来想定される原子力発電所における廃炉も視野に入れて」の部分について、衰退のイメージが連想されるので、表現方法について一考をお願いしたい。 　例えば、「原子力分野にとどまらず広い視野にたって」というようなもの。	○ご意見を踏まえて修正します。 　「電源立地地域においては、電力供給面で我が国の社会経済の発展に大きく貢献しているにも関わらず、時間の経過とともに関連する税収が減少するなど、地域経済への影響も生じています。また、わが国でも経年劣化等により廃止措置の段階に入った原子炉の事例も生じてきている中、県内には、稼働から30年を経過する原子炉が存在しています。これらのことを踏まえ、地域の将来について幅広い視点から検討した上で、特色ある地域づくりを促進し、地域の活力を高めていく必要があります。」
3	会津若松市	6	119	5	第6章　地域別の重点施策（会津地域）	○　地域企業の強みを生かし、社会環境の変化にも対応した産業の振興 「農商工連携の推進」の関連として、 「地域外企業との連携機会の創出」について追加 【理由・背景等】 　現在の多様化したマーケットに的確な対応をしていくためには、農業と商工業の連携に加え、地域外企業との連携機会の創出が必要であり、そのことにより、ビジネスチャンスは飛躍的に広がり、経済活動の活発化と地域経済の活性化が図られると考えます。	○ご指摘の趣旨は中間整理でも触れています。 　地域別の施策の展開方向において「企業連携等を活用する」旨記載し、その趣旨を含めています。また、重点施策で、企業連携などの多種多様なネットワーク組織を支援することとしています